



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岡 光正 / 副会長：芥川 圭一郎 / 幹事：馬渡 圭一

2025～2026 年度クラブスローガン

例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聡一郎

委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率78.26%：会員数53名・出席27名・欠席10名・出席規定免除会員9名・ビジター3名
 前々回の修正出席率87.50%：出席29名・メイクアップ2名



会長挨拶 / 岡 光正君



皆様こんにちは。先週からのロータリー活動を報告致します。

17日木曜日、親睦例会活動委員会、山口委員長を中心若手が8名集まり、来月6日開催の納涼家族会の打ち合わせ。現在100名近くの参加者のようです。

20日日曜日、3時間見ごたえのある「国宝」の映画鑑賞。鬼滅の刃と合わせてお勤め致します。22日火曜日、コスモス会に、35周年記念式典懇親会にコーラス披露のお願い。鶴田パスト会長を始めとする男性コーラス再結成、練習の参加お願い致します。夜は、国際交流と式典例会出席委員会の合同委員会。これも35周年について協議を行いました。

さて、今日はゴルフの「シングル祝」の話をしたいと思います。ゴルフをされない方は、そっと聞いて下さい。今週26日土曜日は、本年度最初の「中央会」です。前田眞澄中央会会長・香月章彦幹事、宜しくお願い致します。熱中症にならない様にプレーして下さい。私の今年の目標は、ハンディキャップが40以上あるうちに、優勝したいと思っています。ゴルフのピーク年齢は60歳のようです。私はギリ59歳ですので、優勝の可能性がありますので頑張りたいと思います。ここからが「シングル祝」の話です。中央クラブで「シングル祝」をされた方は、記憶では牛島義亮プロ・橋口輝宗プロ・井手陽一プロの3名だと思います。他はいらっしゃいませんね。記憶に新しいのは、井手陽一プロのシングル昇進祝が5月31日にありました。今日はその時の話です。ここからは、家内との会話です。「井手陽一君シングル昇格祝賀会」の案内状が届きました。先に郵便受けから家内がその案内状を受取り、私に持って来ました。その案内状を見ながら驚いた様子で「えっ井手さんって離婚したと？

ロータリーでは離婚の祝までするとね？」「シングル祝賀会って書いてあるよ」と言いながら、私に案内状をもってきました。きっと井手陽一君が離婚してシングルになったと思ったのでしょうか。間抜けな話ですが、私は笑いながら、ゴルフではハンディキャップが一桁になることを「シングルプレイヤー」と言ってお祝いすると説明しました。それで安心して笑い話になりましたが、ゴルフを全くしない人、ゴルフに興味がない人は、同じ事を思うかもしれません。

このやり取りをロータリー活動に置き換えて少し考えてみました。我々の職業奉仕や社会奉仕活動が、ロータリーを全く知らない方に、どう伝わっているのでしょうか。地区研修会で「公共イメージ」の重要性についてセミナーがありました。その中で「公共イメージ」とは、どう伝えるかではなく、相手がどう受け止めるかが、重要だと話がありました。伝え方は難しいものがあります。しかしながら、リアルタイムで伝えて行かなければなりません。そこで「公共イメージ」を伝える一つのツールとして、中央クラブの「ホームページ」リニューアルについて、現在橋口委員会と協議をしているところです。今のHPは15年位前に作られたもので、現代に対応していないようです。本年度中には方向性を示したいと思います。これから対外的な事業が続いていきますが、「公共イメージ」と両輪でロータリー活動を理解し伝えていきたいと思っています。

この後、奉仕プロジェクト委員会による、第1回クラブフォーラムです。35周年のメイン事業である、12月6日開催の「市民交流会」の話があると思います。最後まで宜しくお願い致します。間抜けな「シングル祝」の話でした。以上、会長挨拶とさせていただきます。



本日のビジター紹介

* 佐世保西RC

会長 青木 資行様

幹事 酒井 英士様

パスト会長 百武 和子様

RePort 幹事報告 / 馬渡 圭一君

(ハ_ハ) ニコニコボックス

1. 来信

ガバナー事務所

- ・『クラブ・地区支援リソース集』のご案内
- ・ロータリー奉仕デーについてのお願い

ロータリー情報

戦略計画委員会 宮崎 正典委員長
(代読：片桐 康利副委員長)

本日のロータリー情報は「寄付について」です。
まずは、各クラブの米山記念奨学会寄付額の累計額順に見てみましょう。

佐世保8, 700万円、佐世保南5, 700万円、佐世保北4, 300万円、佐世保東2, 500万円、佐世保西2, 500万円、佐世保中央1, 200万円、佐世保東南450万円、HTB佐世保900万円となっています。もちろん、創立年数が古いクラブは累計寄付額も多いのですが、中央クラブは最後から3番目という事実です。

当クラブには基金会という、いわゆる互助会のようなシステムで、全会員が順番にポールハリスフェロー、米山財団に寄付をしていくやり方で、私自身も大変効率的なやり方であると思っています。ただ、寄付についての考え方は15年在籍して思う事は、各クラブのロータリーについての考え方に言及するかと思います。クラブの方針として、奉仕活動を充実させる、寄付活動を充実させるなど、そのクラブのカラーがあって良いと思います。それに「寄付」とは本来、誰かに強制されることなく、自らの意思で行う事だと思います。

私事ですが、現在、ロータリー財団の教育の支援に毎月1万円ずつの寄付を個人的に行っております。これは、誰かに強制された訳でも無く、ガバナーを出すのに寄付額が足りないからでも無く、私自身が勝手に心の平安の為に、行っております。というのは建前で、本当はお酒が飲めなくなったので、腹癒せに行っています。やり方はネットからマイロータリー経由で、寄付をしたい項目を指定して、クレジットカードを登録するだけです。40%の寄付金控除の適用もあります。興味のある方は私までお問合せ下さい。

来月のロータリー情報は井上委員長率いるSAAの委員会にお願いしたいと思います。よろしくお願いします

佐世保西RC 会長 青木 資行様、幹事 酒井 英士様
パスト会長 百武 和子様

本日はお世話になります。よろしくお願いします。

岡 光正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日はメイクアップとして、佐世保西RC会長 青木 資行君、幹事 酒井 英士君、パスト会長 百武 和子君にご来訪頂いております。お忙しい中でのご来訪、誠にありがとうございます。

本日7月24日は、『劇画の日』です！1964年7月24日に、青林堂が劇画雑誌『ガロ』を創刊したことに由来します。『月間漫画 ガロ』若かりし頃読んでらっしゃったメンバーさんいらっしゃいますでしょうか？さて、本日の例会は奉仕プロジェクト委員会担当の第1回クラブフォーラムとなっております。皆さま、本日もよろしくお願い致します。

八重野 一洋君

こんにちは、毎日酷暑が続いています。先月末、北海道旭川訪問時にはまだ30度でした。今は40度らしいですね、驚きです。先週末、弊社の70歳代の男性ユーザーですが、熱中症が原因で運転中意識を失い道路わきの電柱にノーブレーキで衝突し車は大破、大けがをして救急搬送されました。と中央会グループラインに注意喚起の意味で70代の先輩方に向けて投稿したのですが、既読スルーでした。先輩方大丈夫でしょうか？(笑)それと7月7日に入社したインドネシアからの技能実習生も毎日頑張っています。最初に覚えた佐世保弁は「毎日ぬっか！」でした。酷暑見舞いを兼ねてニコニコします。

香月 章彦君

佐世保西RCパスト会長百武和子様のご来訪、誠にありがとうございます。北星会役員よろしくお願いします。

田中 啓輔君

佐世保西RCの事務局のコピー機を納入させていただいています。ビズテックと申します。いつもありがとうございます。

芥川 圭一郎君

甲子園への夢は昨日終了しましたが、本日の大安吉日・一粒万倍日ということで夢をジャンボへたくしました。

牟田 久美子君

佐世保西RCパスト会長並びに、佐世保商工会議所女性会会長 百武 和子様のご来訪を歓迎いたします。いつもお世話になっております。

山口 裕之君、片桐 康利君、筒井 琢磨君、川上 仁哉君

佐世保西RC会長 青木 資行君、幹事 酒井 英士君、パスト会長 百武 和子君ご来訪ありがとうございます。

本日の合計	12,000 円
本年度の累計	272,000 円



今日の卓話

◆第1回クラブフォーラム◆
奉仕プロジェクト委員会

社会奉仕について



SAA：筒井琢磨
次回例会 7月31日 12:30～

ロータリーにおける 社会奉仕とは

・地域社会や世界の人々の生活の質を向上させることを目的とした奉仕活動の中の中核的な要素だと言われています。

・ロータリークラブは『超我の奉仕』
service Above selfの理念の元
社会奉仕の活動を展開していま
す。

各地域のクラブの活動例

- ・高齢者・障がい者への支援
 - ・地域介護施設への訪問、車イスの寄贈
 - ・環境保全　　・公園の清掃活動、植樹の活動、河川美化
 - ・災害支援　　・被災地への義援金・物資提供、復興支援プロジェクト
 - ・地域子供や若者への支援
 - ・学用品の寄贈、給食支援、スポーツ大会など
 - ・公共施設の整備・図書館・公園・バス停などへの寄付や整備
- などなど.....

社会奉仕の進め方

1. ニーズの調査
 - ・地域の課題をリサーチし、支援が本当に必要な分野を特定
2. 企画・立案
 - ・奉仕プロジェクトをクラブ内での検討・企画
3. 地域との連携
 - ・自治体・NPO・学校などと協力として活動実施
4. 実行と評価
 - ・活動後成果を評価し、次の改善につなげる

価値観とつながり

- ・社会事業とは、四つのテストや中核的価値観（専任・専従・多様性・高潔性・リーダーシップ）とも深く関係している。単なる慈善活動ではなく、倫理と信頼に基づく持続可能な地域貢献を目指す。
- ・ロータリーは社会事業とは、地域をよりよくするための継続的な努力で事業の形は多様ですが、どの活動も「人のために、社会のために」という共通の志に支えられています。

最後に。。。。。

- ・35周年、記念すべき市民交流会を盛大に盛り上げるためには社会奉仕委員会だけでは成功しません。
クラブ会員の皆様の力が必要になります。
- 20周年のアルカスでの市民交流コンサートを参考にさせて頂きながら、委員会を中心に発案し35周年もよかったと思うような事業にしていきたいと思います！！

ご清聴ありがとうございました。

memo